

「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2011」

入賞者決定

この度、「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2011」の各賞入賞者が決定致しました。今年度は全国から1,915点（作文590点、ポスター317点、スローガン1,008点）もの応募をいただきました。また、今年度から新たに行った紙リサイクルを含む環境教育の取組みをしている小中学校からの活動報告の応募もいただきました。応募下さったみなさん、ありがとうございます。

入賞された方々は、以下の通りとなります。おめでとうございます。

「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2011」入賞者一覧

【金賞】

部門	部	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生	山梨県	甲府市立相川小学校	4	楠間 心泰	もったいないの精神で
	中学生	三重県	国立大学法人三重大学教育学部附属中学校	2	松本 野乃	紙リサイクルの工夫
ポスター	小学生	茨城県	神栖市立波崎西小学校	4	立原 芽依	リサイクル 地球を守るアイデアを！
	中学生	神奈川県	川崎市立西高津中学校	3	本間 貴裕	いかに変われる 紙の未来
スローガン	小学生	千葉県	市原市立白幡小学校	6	森 達斗	その紙が 紙をまた生む リサイクル
	中学生	埼玉県	狭山市立入間川中学校	3	原田 祐花	再生紙 こんなところで また会えた。

【銀賞】

作文	小学生	東京都	東京創価小学校	6	下川 洋伶	私が学んだ紙リサイクル
	中学生	岩手県	釜石市立釜石中学校	2	小原 浩平	紙リサイクルを考える
ポスター	小学生	静岡県	浜松市立東小学校	6	花島 瑞希	ペーパーメイドフラワー
	中学生	群馬県	太田市立西中学校	2	沈 知佳	あなたによって生まれ変わります
スローガン	小学生	東京都	目黒区立油面小学校	6	平林 未海	リサイクル また新しい命が 生まれるよ
	中学生	神奈川県	川崎市立西高津中学校	3	藤谷 りか	紙一枚 地球を思いやる気持ち

【佳作】

作文	小学生	福岡県	福岡市立警固小学校	5	牧野 愛斗	紙リサイクル
		熊本県	八代市立八代小学校	6	武澤 里穂	私たちの大切な紙
		徳島県	鳴門市立撫養小学校	4	榮 子龍	ぼくの家の紙リサイクル
	中学生	京都府	京都市立北野中学校	3	山下 千尋	古紙回収をもっと盛んに
		東京都	世田谷区立東深沢中学校	3	齋藤 光	小さな力、大きなものに
		東京都	江戸川区立瑞江第三中学校	1	荒川 優奈	紙のリサイクルについて
ポスター	小学生	埼玉県	川越市立高階北小学校	1	武田 菜々子	ちきゅうをまもろう
		東京都	大田区立道塚小学校	3	近藤 健	ダンボールギーニ
		兵庫県	川西市立川西小学校	5	松林 綾子	きちんと学ぼう！リサイクル
	中学生	東京都	江戸川区立瑞江第三中学校	2	六角 若菜	紙のリサイクル 始めよう
		東京都	江戸川区立瑞江第三中学校	1	千種 溪太郎	変身だ～
		愛知県	刈谷市立刈谷東中学校	3	森田 望愛	紙はリサイクル
スローガン	小学生	福岡県	福岡市立警固小学校	4	山本 はるか	リサイクル 紙もしげんだ 大切に
		神奈川県	横浜市立下田小学校	6	尾関 陸人	リサイクル 1人1人の 心がけ
		北海道	函館市立北美原小学校	2	本間 百詠	つかえるよ いつでもどこでも なんとでも
	中学生	東京都	町田市立真光寺中学校	2	荒木 雅貴	やってみよう 紙リサイクル ecoの為
		東京都	昭島市立福島中学校	1	宇野 裕二	捨てないで 紙はまだまだ 生きている
		東京都	世田谷区立用賀中学校	1	佐藤 陸	古紙だって 生まれ変わるよ 再生紙

【環境活動優秀校表彰制度】

環境活動優秀校	東京都	目黒区立油面小学校
	山形県	酒田市立平田中学校
	東京都	小金井市立小金井第一中学校ハンドクラフト部

金賞

小学生の部

神栖市立波崎西小学校 4年

立原 芽依

「リサイクル 地球を守るアイデアを！」



中学生の部

川崎市立西高津中学校 3年

本間 貴裕

「いかせば変わる 紙の未来」



銀賞

小学生の部

浜松市立東小学校 6年

花島 瑞希

「ペーパーメイドフラワー」



中学生の部

太田市立西中学校 2年

沈 知佳

「あなたによって生まれ変わります」



金賞

小学生の部

市原市立白幡小学校 6年

森 建斗

その紙が
紙をまた生む
リサイクル

「その紙が 紙をまた生む リサイクル」

中学生の部

狭山市立入間川中学校 3年

原田 祐花

再生紙、こんなところで また会えた。

「再生紙 こんなところで また会えた。」

銀賞

小学生の部

目黒区立油面小学校 6年

平林 未海

「リサイクル また新しい命が 生まれるよ」

リサイクル
また新しい命が
生まれるよ

中学生の部

川崎市立西高津中学校 3年

藤谷 りか

紙一枚地球を思いやる気持ち

「紙一枚 地球を思いやる気持ち」

作文部門 小学生の部

甲府市立相川小学校 4年 楠間 心泰

「もったいないの精神で」

ぼくは、8月20日甲府市のリサイクル探検隊へ参加し、古紙の中間処理施設、古紙のリサイクル工場を見学し、ミックスペーパーがトイレットペーパーになるまでを勉強しました。

ぼくの住む甲府市では、ゴミは「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」「資源物・有価物」「ミックスペーパー」の四つに分かれています。そのうち、「燃えるゴミ」は、去年約36,896トン集められ、一人一日当たりになると509グラムにもなるそうです。こんなに多くゴミが出ているなんて、とてもビックリしました。このままでは、地球が、ゴミの惑星になってしまうかもしれません。

そこで、どうすればゴミが減るのか考えたいと思います。「①リデュース・減らす、②リユース・再使用する、③リサイクル・再利用する」は、ゴミ減量の3Rです。この3Rをどのように生活に取り入れていくかがポイントになると思います。

まず「①リデュース・減らす」です。とにかく「ゴミにしない」ということが大切です。もったいないの精神で、まだ使えるものはすてないことです。鉛筆や消しゴム、ノートなど身近なものから、物を大切に使うと思います。

次に「②リユース・再使用する」です。ぼくが家で使っているのが、ペットボトルで作った「ペン立て」です。作り方は、ペットボトルの下のほうを15センチから20センチ残して、切ります。次に切り口にビニールテープをはります。ペットボトルに油性のペンで、イラストを書いて、オリジナルペン立ての出来上がりです。ペットボトルは、他にもいろいろ使えそうなので、また考えたいと思います。

そして最後に「③リサイクル・再利用する」です。今回の探検隊で、ミックスペーパーは、大切な資源であることが分かりました。「ミックスペーパー」とは、紙くず、紙袋など紙類のほとんどです。金具やホチキスなどが付いていてもよいそうです。家の人に聞くと、今まで燃えるゴミとして出していたものもあるとのことでした。ぼくは、一番ゴミが出る台所にゴミの分別表をはり、一目でどのゴミが分かるようにしました。そして、燃えるゴミ入れを「生ゴミ」「プラスチック」「紙」の三つに分けずるよう分別をてっていました。この分別により今まで燃えるゴミとして出してしまったミックスペーパーが増え、燃えるゴミが減りました。

温だん化などかんきょう問題が大きくなる中でゴミの減量化もこれからの課題です。ぼくは、「もったいないの精神で、物を大切にし、ゴミの分別をてていする」というこの夏休みの取り組みを、これからもがんばって続けていきたいと思いました。

「紙リサイクルの工夫」

朝のごみ集積場で思うことがあります。緑色の半透明の燃えるごみ袋から、新聞紙や段ボールが透けて見えることについてです。その様子はとても残念です。資源ごみなどに出せばリサイクルできるのに、めんどくさかったのだろーと思います。リサイクルを徹底することは難しいということがよく分かります。

私の家でも紙リサイクルに取り組んでいます。新聞や雑誌、牛乳パックは必ず、資源の回収へ出しています。私自身も、使い終えて必要なくなったノートやプリントなどを資源ごみとして出すよう心がけています。名前など個人情報を確認して消したり、まとめてひもでしばり回収場所まで持っていったりと、正直めんどくさいと思うことも多くあります。でも、できる限りリサイクルできるようにしています。

けれど、回収された古紙が再生された後、どのような製品になり私達のところに戻ってきているのか意識したことはあまりありません。家の中を探してみると、トイレトペーパーやノート、市の公報などが紙リサイクルの製品でした。そして、市の公報にはリサイクルマークのとなりに「この冊子は資源ごみの『新聞』に分別してください。」と書いてありました。分かりやすく、リサイクルのきっかけになると思います。ぜひ、他の製品にも紙の分別の行き先を書いてほしいです。

紙リサイクルには、再生に適さない紙もあります。防水など特別な加工がされた紙や感熱紙などは、再生できない紙とされ、一目見ただけでは判断が難しいです。特に、ギフト用の箱や派手な印刷のパンフレットなどは分別が難しいです。このような紙は、分別に迷い、リサイクルできるのに、結局捨てられているものも多いと思います。特別な紙でも、再生の邪魔になる不純物を取り除く技術が発達すれば、リサイクルにまわる紙も増えるのではないのでしょうか。

「段ボールにはできるだけテープを使用しない形態で〔資源使用量削減のための工夫〕と〔分別しやすい工夫〕をしています。」と書いてある段ボール箱を見つけました。テープを使わなくてもふたを閉じられる形のもので、この段ボールはリサイクルをしやすいように考えられていてとても良い製品だと思います。リサイクルがしやすいものを工夫して作るということも大切だと思います。

紙リサイクルをもっと多くの人にしてもらうには、分別を簡単にすることが大切だと思います。そのためには、紙製品には分別の表示を必ずすることです。また、紙再生技術を開発して古紙の分別の手間を減らすことでも、多くの古紙を回収できるようになるでしょう。そして、リサイクルしやすい紙製品をつくることを基本とすることも必要です。そして、私自身にできることは、古紙をきちんと分別してリサイクルへ出すこと、また、再生された製品を積極的に買い、使っていくことです。